



タイ王国

タイ王国北部 山岳民族学校への保健室建設事業

埼玉・タイ王国
友好協会

埼玉県国際化の進展とタイ王国との更なる友好関係の維持確立を図り、より裾野の広い交流を促進するために、民間レベルの組織として1999年に設立し、交流懇談会の開催、親善訪問団の編成、会員相互の親睦等を行っています。現在までに、タイ国内で人材育成事業として奨学支援資金の授与や寄宿舍、学校校舎、図書館などの建設事業を実施し、子供たちの勉強できる環境づくりに取り組んでいます。

■ 事業の概要

タイのチェンマイ県にある山岳民族学校、メーター幼少中校では、生徒の約半数が敷地内の寮に住んでいます。自宅が遠いため休日も寮で過ごす子供たちが多いにも関わらず、学校には保健室がなく、体調不良や怪我の手当てが十分にできない状況でした。そこで本事業では子供たちが健康で安心して勉強に励めるよう、保健室建設事業に取り組みました。

■ 事業の結果

保健室の建設予定地として学校の臨時駐車場の一部を取り壊して工事が進められました。山の工事は材料の運搬から掘削等の作業に至るまで基本的に人力のため、一般的な工事と比べて多くの時間と労力がかかります。少しでも作業効率が上がるよう、臨時駐車場の屋根の一部を残し、雨でも作業を継続できるようにしました。天気や人手の状況を見ながら建設作業を進め、12月に完成しました。地域の教育長は今後この保健室は地域の医療体制をも補完する大変重要なものとなると話され、地域における期待度の高さがわかります。また、保健室には大型扇風機や薬品保管用冷蔵庫、日本語普及のための文房具、お茶道具、日本語の辞書、日本の地図なども寄贈しました。

今回の保健室建設事業は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により現地滞在が難しく、工事手配等はすべて現地の皆様に進めていただく形で実施しました。保健室が完成したことで、幼少中校の子供たちが安心して勉強できる環境が整い、さらには地域の医療体制の補完する役割を果たしていくことを期待しています。



完成した保健室



竣工式典での集合写真